

平成26年度第2回岡山県FM連絡会議（地域会）の開催報告について

平成26年度第2回岡山県FM連絡会議を、10月3日（金）13時から玉野市産業振興ビルにおいて開催しました。県内16自治体の職員47人に加え、開催地の玉野市職員や、市町村議員の参加もあり、総勢約100人が参加しました。

第1部では、構想日本ディレクターの伊藤 伸氏から「公共施設仕分け～高松市の事例～」と題し、公共施設の最適化が必須であること、最適化するに当たって住民との合意形成が最重要であることについて、高松市で実施した公開施設評価の概要を交えながらご講演いただきました。

次に、第2部では、NPOきらめき広場理事であり、元哲西町長である深井 正氏から「新見市哲西町 きらめき広場哲西」について、事例紹介をいただきました。きらめき広場哲西は、行政窓口、診療所、生涯学習施設、子育て支援サービス等が集約された複合施設であり、当施設の建設までには、住民と60回に及ぶ協議を行い、その中で、住民みんなが作った施設という意識が形成されていったこと等についてお話がありました。

連絡会議の最後には、今年度、公益財団法人岡山県市町村振興協会と当連絡会議が共同して実施している、県内の公共施設白書整備を進めることを目的とした調査研究事業についての進捗報告等がなされました。

当連絡会議は平成24年に県内11自治体の参加を得て発足して以来、今回で第5回目の会議になります。FMの輪は徐々に広がりつつありますが、今後も、更なる発展、ネットワークの強化を目指し、取組を進めていきます。

